

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	令和 6 年度食品栄養科学部改革推進費				
研究組織	代 表 者	所属・職名	食品栄養科学部・教授 ／学部長	氏名	伊吹 裕子
	研究分担者	所属・職名	食品栄養科学部	氏名	全主任教員
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	食品栄養科学部・教授 ／学部長	氏名	伊吹 裕子

講演題目
令和 6 年度食品栄養科学部改革推進費
研究の目的、成果及び今後の展望
○目的 食品栄養科学部では、3 学科が教育・研究の両面において緊密な連携を取りながら学部運営を行っている。更なる教育・研究の推進を図るためには、学部運営に関する事務機能の強化が必要となる。以下の補助事業を遂行していく。 1. 学部長及び教員が行う事務一般に対する補助業務 ○成果 2024 年度において、講義および実験実習の充実を図ることを目的に、第 2 期中期計画、ならびに第 3 期中期計画に完成させた専門教育カリキュラムを実施し、その検証を行った。食品・栄養・環境に関する専門技術者育成のための教育について、栄養生命科学科では 9 年目となる栄養教諭教職課程、食品生命科学科と環境生命科学科では 6 年目となる理科教諭教職課程に関する教育を確実に進めることができた。履修者は、4 年生：栄養 4 名、食品 4 名、環境 2 名。3 年生：栄養 7 名、食品 1 名、環境 1 名。2 年生：栄養 9 名、食品 1 名、環境 0 名。1 年生：栄養 8 名、食品 6 名、環境 3 名となる。 また、食品生命科学科に加え、2020 年 4 月から栄養生命科学科と環境生命科学科でも開始した食品衛生管理者・食品衛生監視員養成施設としての教育についても順調に進めることができた。 加えて、本年度に数理・AI・データサイエンス教育プログラム（応用基礎）の認定を受けることができ、2023 年度より全学科で開始した授業科目についても確実に進めることができた。 事務的な業務を担う人件費として、主にこの予算を執行した結果、教員の事務業務量が著しく軽減され、教育・研究を中心とした業務に従事することができた。 ○今後の展望 今後、食品栄養科学部の教育・研究の更なる推進のためにも、引き続き事務的な業務を行う人材の確保が必要であると思われる。本年度以降も、その運営体制のもと、重要な案件を執行していく。